

三角柱 POP のデザイン

図書室に設置する 三角柱 POP をデザインしよう。

※実際に設置します。

提出物:三角 POP 完成品・コンセプトシート(A4/書式・枚数制限なし)

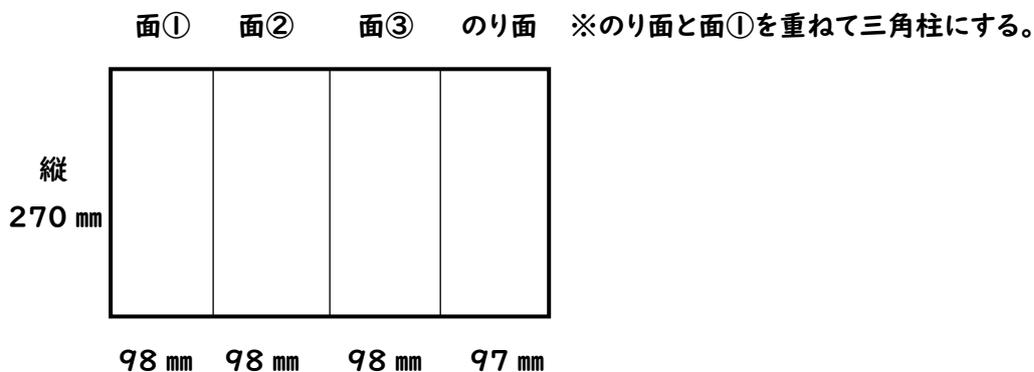
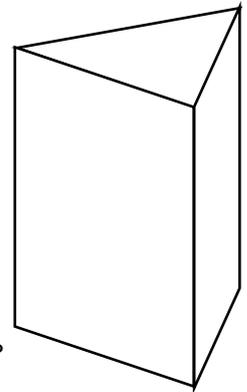
メ切:6月26日(金)17:00 メ切厳守

【規定】

- 京都八幡高校図書室のテーブルに設置することを想定した三角柱 POP をデザインする。

右の図のように 3 面とも見えるように設置します。(横置き不可)

サイズは下記の通り。(本番用紙:ケント紙)



テーマは以下から選択する。

テーマ選択

1. 日本十進分類法:10の分類中から 1 つ選んで、その分類の本が読んでみたくなるように作る。分類を複数選んではいけない。
2. 美術作家紹介:美術作家を一人選んで作品や作風・魅力を紹介する。
3. 文豪紹介:文豪を一人選んで作品や作風・魅力を紹介する。

- 伝えること・人を惹きつける・テーマに対して興味を持ってもらえるデザインを心がける。

著作権に違反しないよう留意すること。(高校生の美術2 P72)

※注意:著作権違反者は違反内容を訂正して再提出しない場合、未提出扱いとします。

- フルカラーで作成し、ポスターカラーで着色、カバーフィルムをかけ、組み立てた状態で提出する。

カバーフィルムは着色が完成した人に渡します。(最終授業で組み立てられるようにその前までに着色が終了しておく必要があります。)カバーフィルムは端から少しずつシートの台紙をめくって貼り付ける。小さな気泡が入ってしまったときは、針でシートのみ突いて空気を抜く。張り直しはできないので慎重に作業すること。

カバーフィルムをかけるまでケント紙は折らない・切らない事。フィルムをきれいに貼れず、技術評価が下がります。

- 文字部分はペン使用可。ただし、地塗り(背景色)は絵具で行う。文字のみのデザインは不可。

地塗り必須。文字の背景にも雰囲気に合わせて背景色を入れること。絵具がのっていないところがあるのはならない。

●タイトルはレタリングをすること。

レタリングの本から書体を選び、使用する。手書き風フォント不可。書体をインターネットや PC で調べても良い。レタリングの出来栄はレタリングの技術点として作品の技術点とは別に採点。必ず下書きで薄く枠線を引き、大きさや文字間隔、ラインが揃うように丁寧に仕上げる。直線部分は定規を使用する。

●設置時の上辺はデザインに合わせてカットしても良い。下辺はカット不可。

ただし、面積を少なくするためのカットは不可。なるべく紙面を確保し、内容の充実に努めること。文章内容はデザインとは別途評価する。紙面を減らすだけのカットは発想点を減点とする。

仕掛け絵本のような加工をしても構わない。魅力的な工夫があれば、これに限らず加点する。

(例: のり面が重なる面を部分的にカットし、のり面に描いた図像を見せる。面の一部をくりぬいて内側の絵を見せる 等)

カッターナイフ使用の際はカッターマットを使用すること。

【評価について】大きく四つに分けて評価します。評価内容は以下の通りです。

●発想点(発想・デザインする上での工夫点)

・選んだテーマに対して良く調査し、限られた紙面にのせる内容を吟味できている。

文字ばかりでは読んでもらえません。絵だけでは情報が足りません。バランスが大切です。

・興味を引くための構成・配色の工夫がされている。

・コンセプトに合わせた構成・配色の工夫がされている。

メイントーンを選択やアクセントカラー or サブトーンを選択(コンセプトシートに記入)

●技術点(作業の丁寧さ・仕上がりの良さ・技術的な工夫点)

・作品の出来栄

絵具の塗りの技術・丁寧さ(適切な筆の選択と運筆・水分量の調節・混色の適切さ・色彩の豊さ)

暗色を作るときは補色を混ぜる。黒を混色に使わない。

カバーフィルムの貼り方の技術・丁寧さ(空気が入ってないか・しわになっていないか)

組み立ての技術・丁寧さ(直線がきれいに折れているかどうか、カットの技術・丁寧さ)

・レタリングの出来栄

定規を使用し、字体の大きさや字間、ライン等を整えられているかどうか。

直線部分は定規を使用し、きちんと整えられているかどうか。

線幅や空間のバランスが書体の通りに出来ているかどうか。

効果的な書体の選択ができているかどうか。

●文章内容(作品中の文章)

・作品の中の紹介文が内容に適切であるかどうか。

・表面的な紹介でなく、内容を良く調査し、吟味・取捨選択して、興味を持ってもらえるような文章になっているかどうか。

よく調査して紹介することで魅力を伝えられる文章を書くことができます。無理解でデザインをすることは魅力を伝えられないだけでなく、間違った情報を伝えてしまうことにもなります。

●コンセプト(制作意図をまとめたもの) ※テーマに対して調査した内容を追加で添付してください。

・コンセプトシートの内容で評価します。

テーマに対する調査がしっかりとされているかどうか。

内容の充実(自分がどういった意図で作品を作ったのか、言葉で丁寧に説明できているかどうか。)

コンセプトとデザインが合致しているかどうか。

教科書等参考ページ等

デザインプロセスについて: 高校生の美術2 P40、41、72、73

レイアウト(構成)の工夫: 高校生の美術2 P72、73

色彩・トーンについて: 高校生の美術2 P77、78 (色彩基礎、構成基礎は高校生の美術 I P147~150)

色の基礎配布プリント(A3、2年生 I 学期に配布したプリント)

レタリング・書体基礎: 高校生の美術 I P141

紙の加工・仕掛け例: 高校生の美術2 P44、45、76

日本十進分類法参考: はつかいち市民図書館 <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp>

※キャラクターには著作権がありますので、使用不可です。各分類の詳細は自ら調査してPOPを作成すること。